資料１

令和8年度第1回情報選定専門委員会からの報告

	題　名	主な情報源の種類	情報収集の視点			④検討に見合う情報があるか（量・質）	⑤評価委員会での検討の必要性があるか	⑥緊急な情報提供の必要性があるか	判定結果	検討の方向性
			①健康被害の未然防止	②危害の拡大防止	③正しい情報提供					
1	生又は加熱不十分な鶏肉による食中毒リスクと効果的な啓発の検討	食中毒発生状況 実態調査結果 都民の意識調査結果	○4名 △1名	○5名	○3名 △2名	○	○	○	○	リスク認識が都民に十分に浸透していない現状を踏まえ、啓発の対象となる層の特性などを考慮しながら、伝える情報及び手法等を見直し、より実効性の高い啓発の在り方について検討していく。

○：該当する　△：どちらともいえない　×：該当しない